

2025年 主な天文イベント



1月

★海星館 天候良ければ初日の出観望会★

- 4日 00時ごろ しぶんぎ座流星群 極大 条件◎
- 12日 火星と地球が最接近
- 14日 07:27 満月(ウルフムーン)

2月

- 1日 正午ごろ 土星食 木で観察しよう
- 12日 22:53 満月(スノームーン)
- 15日 金星が最大光度 日没後の西の空、1等星の100倍明るい

3月

- 5日 22時ごろ プレアデス星団食
- 14日 15:55 満月(ワームムーン)
- 20日 春分の日
- 24日 土星の環の消失 木で観察しよう

4月

★海星館 開館30周年★

- 13日 09:22 満月(ピンクムーン) 今年最小の満月
- 22日 22時ごろ 4月こと座流星群 極大
- 25日 金星が最大光度 日の出前の東の空、明るさ-4.8等級!

5月

- 3日~5日 M44プレセペ星団と火星が接近 かに座に注目
- 6日 12時ごろ みずがめ座η流星群 極大
- 7日 土星の環の消失 木で観察しよう
- 13日 01:56 満月(フラワームーン)

6月

- 11日 16:44 満月(ストロベリームーン)
- 21日 夏至 一年で一番昼間が長い日
- 27日 うしかい座流星群 極大

2025年は、「食」が見られるチャンスが多い。2月1日には土星が月に隠れる、土星食が大分で見られる。昼間に起こるので、観察には望遠鏡をしよう。9月には数年ぶりに日本の広い範囲で皆既月食が見られる。これは地球が太陽と月の間に入ることで月を隠す現象。また、プレアデス星団食も多い。3回ほど見られるチャンスがある。これは月がM45プレアデス星団を隠す現象だ。ギリシャ神話ではオリオンから逃げてきたプレアデス7姉妹を月の女神アルテミスがかくまったという話があるが、その元となった現象だと言われている。プレアデス星団は日本では「すばる」の名で親しまれている。肉眼でも観察できる有名な星団だ。

惑星では火星と土星に注目してほしい。火星は数年ぶりに地球に大接近する。そのため非常に明るく見える。土星は、今年は地球からは真横近くから見るようになるため、環が非常に薄く見える。3月、5月、11月には環が見えなくなるタイミングもある。これを「土星の環の消失」という。そしてまた来年から徐々に環が太く、円盤のように見えるようになる。環の観察には望遠鏡をしよう。約15年の周期でしか見られない土星の珍しい姿にご注目あれ。

宇宙探査としては、H II -Aロケットが引退予定となっている。2001年の初号機から始まり、これまで多くの観測衛星や探査機を宇宙へ送ってきた。最後の50号機は3月末までに打ち上げ予定だ。今後はH3ロケットが引継ぎ、日本の宇宙輸送を担っていく。

7月

- 7日 七夕 ササに目標や願い事を飾ろう
- 11日 05:37 満月(バックムーン)
- 30日 やぎ座流星群 極大 流れ星を探るときはなるべく広く空を見渡そう
- 31日 みずがめ座δ南流星群 極大

8月

★海星館 8月は平日も22時まで開館★

- 9日 04:55 満月(スタージョンムーン)
- 13日 05時ごろ ペルセウス座流星群 極大 条件△…
- 17日 00時ごろ プレアデス星団食
- 29日 伝統的七夕(旧暦の7月7日) 天の川が見ごろ

9月

- 8日 03時ごろ 皆既月食 ちょっぴり夜ふかししよう
- 8日 03:09 満月(ハーベストムーン)
- 23日 秋分の日

10月

- 6日 中秋の名月 お月見しながらお団子を食べよう 近くには串団子のような土星も見えるよ
- 7日 12:48 満月(ハンターズムーン)

11月

- 上旬 おうし座流星群 極大
- 2日 後の名月 栗名月とも、栗のお月様を楽しもう
- 5日 22:19 満月(ビーバームーン) 今年最大の満月
- 18日 しし座流星群 極大 1時間に20個くらい流れるかも
- 25日 土星の環の消失 木で観察しよう

12月

- 5日 08:14 満月(コールドムーン)
- 14日 17時ごろ ふたご座流星群 極大 寒いけど条件◎
- 22日 冬至 一年で一番昼間が短い日
- 31日 22時ごろ プレアデス星団食